

観光立国の実現は地方(地域)から

# の総力を一

# 国内旅行「今年の課題は

## 着地目線で地域とともに活性化を模索

2016年は北海道新幹線の開業や訪日外国人客の2千万人突破など国内旅行を盛り上げる話題や動向があった半面、熊本地震の発生や軽井沢でのスキーバス転落事故など天災、人災も多かった。そうした中で、旅行業界では旅行の安全・

安心確保や訪日外国人客への対応などの課題も出てきている。年が明け、17年はどんな1年になるのか。また、どんな1年にしなければならぬのか。旅行業界主要4社の社長に語っていただいた。

【東京のホテルニューオータニで】

**出席者**

J T B 社長 高橋 広行氏  
 KNT-CTホールディングス社長 戸川 和良氏  
 日本旅行社社長 堀坂 明弘氏  
 東武トスツ社長 坂巻 伸昭氏

司会 弊社編集部副編集長・板津昌義

## 16年の旅行市場を回顧

16年の旅行・観光市場はどう動いたか。また各社にとってどんな1年だったのか。国内旅行市場を中心に聞きしたい。



高橋 広行氏

高橋 出来事としては一番大きかったのは、4月に起きた熊本地震だ。東日本大震災の経験も生かして、われわれはまず風評被害を最小限に食い止めるため、すでに2千人以上の社員を現地に研修、視察で派遣し現地の正しい情報を社内共有化してお客さまに提供できるようにした。それから国の施策の「九州ふっこう割」についても、全面的に協力させていた。当社独自の取り組みとしては10月から3月まで日本の旬というグループを挙げてのキャンペーンを九州で展開中だ。とにかく九州の観光支援に全力を挙げて取り組んでいる。



堀坂 明弘氏

堀坂 16年の旅行・観光市場を振り返ると、やはり大きな課題は、熊本地震と、東北の震災だ。熊本地震は、観光客の減少や、風評被害の問題が大きい。また、東北の震災も、観光客の減少や、風評被害の問題が大きい。熊本地震は、観光客の減少や、風評被害の問題が大きい。また、東北の震災も、観光客の減少や、風評被害の問題が大きい。

## 九州の観光支援に全力 風評被害対策が課題に

戸川 今年も地震、台風、大雨といった自然災害が非常に多く、当社の取り扱いの数字も影響が出た。一度大きな自然災害が起ると旅行需要はなかなか回復してこない。これは風評被害によるもの。自然災害が起ると旅行需要はなかなか回復してこない。これは風評被害によるもの。



戸川 和良氏

戸川 今年も地震、台風、大雨といった自然災害が非常に多く、当社の取り扱いの数字も影響が出た。一度大きな自然災害が起ると旅行需要はなかなか回復してこない。これは風評被害によるもの。自然災害が起ると旅行需要はなかなか回復してこない。これは風評被害によるもの。

日本間のやすらぎと、和モダンの洗練を...

### 伝統の宿

純和風の趣と伝統のおもてなしをそのままに。ヴィラ1棟とレストラン棟も新たに追加。アパリゾット坐漁荘の新しい物語が始まっています。

心地良い温泉を、6つの趣向あふれる湯殿で...

四季折々の食材の美味しさを、和洋多彩に...

和食処  
フレンチレストラン  
鉄板焼コーナー  
大浴場